

上：森万里子《Higher Being I》2013年 ©Mariko Mori

Photo by Jussi Tiainen

下：ダレン・アーモンド

Ⓔ《Civil Dawn@Mt. Hiei. 7》2008年

Ⓕ《Civil Dawn@Mt. Hiei. 8》2008年 ©Darren Almond

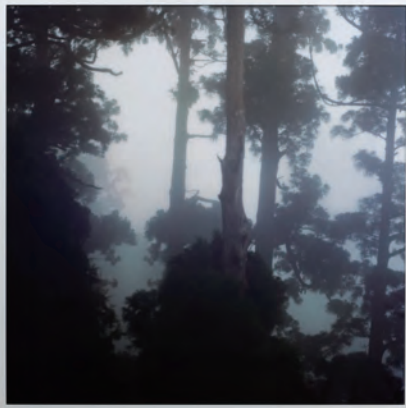


光がもたらす視覚的な効果は、アーティストにインスピレーションを与えてきました。

この展覧会では、当館の現代コレクションの中から「光」をキーワードに、絵画、立体、写真作品を取り上げ、ご紹介します。空間に散乱したり、屈折、反射したりする光を、日ごろ私たちは何気なく見て感じているのですが、光それ自体には形、物質感を感じられず、捉えがたいものです。アンゼラム・キーファーは異素材のコラージュの手法で、また森万里子はコンピュータを用いたフォトペインティングにより、光に形を与えています。名和晃平はそれとは反対に、形ある物質の表面を、透明の球体で被うことで、存在を光の殻に変換しようと試みます。

光の効果も、制作の過程でイメージの内側に取り込むことや、完成された作品の外側から照明の光を加えることでイメージが表れる作品を生み出すアーティストもいます。ダレン・アーモンドやオノデラユキは、独自の撮影方法により自然や人工の光の効果も作品の中に取り込んだ、唯一無二のイメージを作り上げています。一方、大庭大介や嵯峨篤の絵画は、展示空間の照明の光が、新素材の絵の具に反射することにより、イリュージョンが立ち現れ、消えていく作用を内包しています。

光 — The Light



2023年2月14日(火) → 4月9日(日) 同時開催／企画展「近代の誘惑—日本画の実践」2月18日(土)〜3月26日(日)

学芸員によるフロアレクチャー 2月26日(日) 14:00〜、3月26日(日) 14:00〜 / 申込不要 / 集合場所：第7展示室

開館時間 10:00〜17:30 (展示室への入室は17:00まで) 休館日 毎週月曜日 収蔵品展観覧料 一般300円(団体200円)、70歳以上および大学生以下無料

※企画展観覧券で、本展覧会とロダン館もあわせてご覧いただけます。※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 ウェブサイト：<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/> お問い合わせ：総務課 TEL.054-263-5755・FAX.054-263-5767 / 学芸課 TEL.054-263-5857